

一般社団法人 日本応用地質学会
令和7年度・2025 年度
第 1 回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日 時 : 2025 年 5 月 26 日(月) 15:00~17:30

場 所 : 日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、昆委員、崎田委員、外山委員、野々村委員、濱田委員、
水野委員、百瀬委員、山崎委員、山田幹事

委任状提出: 鎌田委員、百嶋委員、安田委員

陪席: 茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2025 年 3 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・JSEG ポスターについては、ARC15(2025、ネパール)で掲示できるよう調整を進める。

2. 理事会報告

- ・前回理事会(R7_第 1 回)の議事録の内容について説明がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) ARC16 関連(2027.11.24~26、泉佐野市:エブノ泉の森ホール)

- ・開催実行特別委員会の議事録(R7_第 1・2 回)の内容、プロポーザル提出(&IAEG mid-year Ex.Com でのプレゼン)の内容、及び現時点での検討状況について、説明がなされた。
- ・IAEG mid-year Ex.Com の場で、マリノス IAEG 会長からコメントあり。「広報活動に協力するので開催パンフ等の資料が準備できたら共有を。」「まずは ARC-4(IAEG 総会)で、プレゼン動画を流してほしい。」「ARC16 で IAEG Council Meeting を開催する可能性あり。」、とのこと。
- ・会議準備が佳境に入ると支部中心での準備に移行すると思われるが、それまでの間はどこが主体となって対応するかについて、特別委員会内で十分議論しておく必要がある。

2) ARC15 関連(2025.11.27~29、ネパール、カトマンズ)

- ・開催チラシ案の内容について説明がなされた。一部修正および追加資料(プログラム、JapanNG提案セッション案内、調査団案内(会告文の概要版))を含めたものに更新し、事前に Ranjan 氏へ内容確認を取ったうえで、6 月のシンポジウムで配布する。
- ・Japan NG 提案セッションの内容について説明がなされた。日本からの発表を少なくとも5編は集めることを目標とする。
- ・海外調査団の募集に向けた検討状況について説明がなされた。学会誌掲載用の会告案については、アイバルビザ取得(ジオプランニングへ 6/9 打合せ時に確認)の案内も含めた上で、6 月のシンポジウムで配布する。
- ・特に ARC16 で中心的メンバーとなりそうな方には、ぜひとも本調査団にもご参加いただくよう依頼する。それと並行して、理事会を通して各会社へも参加を打診する。
- ・International Supporting Partners となることを受けて、JSEG として寄付を行うか(2017 年には 10 万円程度を寄付した)を理事会で確認する。

3) 東アジア地域若手技術者交流会の開催に向けて(2025.10)

- ・現時点での検討状況について説明がなされた。
- ・開催通知メール(中国、韓国、台湾)の送付について説明がなされた。
- ・引き続き、各国代表者と連絡を取り合って参加予定人数の調整を図りつつ、日本からの参加者も確定させる。
- ・本交流会の開催について、IAEG に対してはランジャン副会長から理事会で報告してもらおう。
- ・本交流会については、「アジア地域での YEG 活動の活性化」という位置付けとして、各国 YEG メンバーにも共有する方向で進める(まずは中国の YEG メンバーに伝える)。なお、各国 YEG メンバーのオンライン参加を受け入れる場合には、「東アジア地域」をタイトルから外すことも検討する。
- ・JSEG の YEG メンバーとして、国際委員に今回参加予定の若手4名を加えて、今後も組織的に活動を継続できる形を模索する。
- ・関連イベントとして、TSRMEG(2025 年 10 月、台湾)に国際委員2名が参加予定。

4) IAEG Newsletter 2025 No.2 関連

- ・2025 No.2 投稿へ向けて、引き続き素材(学会シンポジウム、Ranjan 氏 6 月来日対応(ウェビナー、ARC 会場下見)、ARC16 ほか)の収集準備を進める。

5) IAEG 若手会員入会無料キャンペーン

- ・キャンペーン募集の案内について説明がなされた。一部修正したうえで、6 月のシンポジウムで配布する。
- ・今回の若手会員募集を ARC16 での YEG 企画開催につなげることを念頭に置きながら、今後の対応を進めていく。

6) Ranjan 先生来日(6/16)

- ・ウェビナー講演&意見交換会の予定について説明がなされた。

(2) その他

1) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・今後の海外活動の活性化を見据えて、本企画は継続する方向とし、担当者の負担が重くならないような工夫を検討する。(例:ARC15・16 のテーマに関連した論文紹介、各国からの投稿論文特集、アブスト和訳紹介程度、など)

4) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。その際、「ARC15」「ARC16」「東アジア地域若手技術者交流会」「Ranjan 氏ウェビナー」「35 歳以下入会無料キャンペーン」の案内も合わせて周知する。
- ・上記イベント案内については、6 月のシンポジウムでも紙資料の配布を行う。

4. ホームページ関係

(1) 英語版 HP、日本語版 HP(間もなくリニューアル予定)

- ・リニューアル予定の HP について説明がなされた。今後、掲載コンテンツの更新を進めるにあたっては、改めて主担当者の選定が必要である。

(2) 学会 Facebook

- ・今後は SNS からの発信をメインに据える方向で検討を進める。

5. その他

- ・国際委員の役割分担について説明がなされた。
- ・次回委員会(令和 7 年度_第 2 回)は、令和 7 年 7 月に開催する方向で調整する。